

保護者の皆様

札幌市立桑園小学校

校長 佐野 浩志

全国学力・学習状況調査の結果分析について

日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、4月23日(木)に小学校6年生を対象に行われました「全国学力・学習状況調査」について、調査結果の概要をお知らせいたします。本調査結果は、6年生を対象に実施されたものですが、全国の調査結果と自校の調査結果を比較することで、本校における教育活動の見直しや授業改善に役立てたいと考えております。

1. 教科に関する調査の結果

	本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
国語	「言葉の特徴や使い方に関する事項」 「情報の扱い方に関する事項」 「話すこと・聞くこと」 「書くこと」 「読むこと」 ◇全て全国平均を上回っている。	▲相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えること。	◇相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えるなどの学習活動の充実。
算数	「数と計算」 「図形」 「測定」 「変化と関係」 「データの活用」 ◇全て全国平均を上回っている。	▲二次元の表から、条件に合う数を読み取ること。	◇データの収集とその分析に関わる数学的活動を通して、データを二つの観点から分類したり、整理したりするなどの学習活動の充実。

2. 児童質問紙の結果から

よさが表れている点	今回の調査における課題
○多くの子が学習に前向きであったり、正しい生活習慣を心がけたりしていることが様々な回答から伺える。また、「友達関係に満足していますか。」「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。」の回答がともに9割近くで、多くの児童が安心感の中で学校生活を送れていると考えられる。	●「普段、1日当たりどれくらいの時間、スマートフォンや携帯電話、パソコン、タブレット、ゲーム機、テレビ等でSNSや動画視聴などをしますか(学習は除く)」に対して、約2割の児童が「4時間以上」と回答している。

3. まとめ

本校の学力・学習状況調査では国語・算数ともに、全国平均を上回る結果となりました。どの学習内容においても、とても高い正答率となり、子どもたちの日々の学習の成果であると考えます。引き続き、今年度本校で重視している「一人残らず、学級全員がたのしいと感じる授業」を通して、「自ら学びを進める力」を培っていきたいと考えます。

また、質問紙から明らかになった課題について、本校では児童同士のSNS上のやりとりも含め、推奨年齢に満たないSNS等利用を推奨しておりません。引き続き学校便り等での啓蒙を続けていきます。ご家庭でのご理解・ご協力をいただければと思います。

今後も、子ども一人一人のよさや可能性を伸ばすように丁寧に関わり、子どもが、学習に対する意欲を更に高め、主体的に学習へ向かうように教育活動を見直したり、授業改善を行ったりしていきたいと思います。